

〈天録時評〉

政府は同一労働同一賃金の実現に取り組め

低い賃金水準の原因は正規と非正規の給与格差

食料品や様々な生活必需品、電気、ガス料金をはじめ、あらゆるモノの値上がりが今後も続いている。消費者物価が上がり続けるインフレの時代を迎え、それを上回る賃金の上昇がなければ、われわれ国民の生活はこれまで以上に苦しくなる。約三十年間も横這いを続けた賃金水準を大幅に上げるためにには、正規と非正規の賃金格差の解消が不可欠である。民間に呼びかけるだけでなく、まず政府や自治体が非正規の教員や職員の同一労働同一賃金を実現すべきだ。

生活水準の低下

わが国の令和三年の平均年収は、四百四十五万円だ。令和二年の四百三十三万円を十五万円余り上回り、三年ぶりに増加した。しかし、三十年前の平成四年（一九九二）の四百七十二万円には依然として届いていない。

わが国の平均賃金を経済協力開発機構（OECD）加盟国と比べれば、令和二年の購買力平価ペースの実質賃金データでは、三十五カ国中二十二番目で、平均値以下だ。一位の米国の半分強、イスやオランダ、カナダ

の六～七割にとどまりそのまま韓国よりも賃金が少ないのが現実である。

各国の賃金の上昇率を見ると、平成二年（一九九〇）に比べて令和二年（二〇二〇）には、米国

の実質賃金は四八%、イギリスは四四%、フランスでも三一%上昇しているのに、わが国は四%しか上がっていない。この間、韓国は九二%も上昇して、わが国を追い抜いている。わが国は三十年間もほぼ横這いだ。

その間、税金や社会保障費は増加の一途を続けて、手取りが減少し、可処分所得は年々減少している。これまで物価も

〈天録時評〉 国民を守るために戦う力が不可欠

「戦争できない国」を唱える護憲派の無責任

日本国憲法第九条を墨守する護憲派は「日本を戦争できる国にするな」と叫んでいる。「戦争できない国」はどうやって国民を守るのだろうか。

ウクライナの現状を見れば、他国から侵略され、国土が戦場となれば、生

活は破壊され、恐怖に怯

り、届いていない。

わが国の平均賃金を経

済協力開発機構（OECD）

D）加盟国と比べれば、

令和二年の購買力平価ペ

ースの実質賃金データで

は、三十五カ国中二十二

番目で、平均値以下だ。

一位の米国の半分強、ス

イスやオランダ、カナダ

は、三十五カ国中二十二

番目で、平均値以下だ。

柳井市伊陸

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

の達成に向かって、日夜 研究を重ねています。

柳井市伊陸

農薬・化学肥料を一切使用せず、有機肥料で栽培。

大栄スイカ IN 伊陸

吾妹農園

大きな目標・トリフォル15

①重量→15kg ②糖度→15度 ③着果数→15ヶ/株

〈天録時評〉

安倍元総理の功績③

インドとの強い絆と協力関係を構築

「自由で開かれたインド太平洋」構想を実現

安倍晋三元総理が世界で初めて掲げた「自由で開かれたインド太平洋」構想は、国際的な安全保障の維持を強化する戦略として、米、英、独、仏さらにはインドなど多くの国々に基づ本戦略として受け入れられている。また、同盟国や友好国からのわが国への信頼と期待を高めたのが、集団的自衛権の行使を認めた平和安全法制の成立だ。安倍外交によって、世界平和や国際秩序の維持に積極的に取り組み始めたわが国に対しても、世界各国のわが国を見る目が変わり、国際政治における影響力は増大した。この外交遺産を活かして、わが国の平和と安全を維持していかなければならぬ。

優れた先見性

平成二十四年十二月の第二次安倍政権発足の翌日に、安倍元総理は「アジアの民主主義セキュリティダイヤモンド」と題する英語の論文を発表した。「自由で開かれたインド太平洋」構想の始まりだ。すでに平成十九年にインド国会で行った演説で、米国、オーストラリア、中国が南シナ海を軍事要塞とし、海外への軍事進出を進める中で、太平洋とインド洋が分断されわが国をはじめとする周辺国の航行の自由が脅かされれば、自由貿易は大きく損なわれる。これを

防止するため、わが国と米国、オーストラリア、インドが協力をして、二つの大洋が中国の脅威に晒されるのを阻止することを目指した呼び掛けである。

米国も導入

この中で、安倍元総理は、わが国の平和と発展のために、中国との友好関係は不可欠だとする一方で、日本外交は民主主義、法の支配、人権尊重に根ざしていなければなりません。わが国では、わが国だけであり、安倍元総理は毅然たる姿勢を示して、インドのわが国への信頼度を高めた。

安全保障の強化

安倍元総理が平成十九年に印度国会で呼び掛けた協力関係の構築も、慣例を無視し、秩序を破壊する中国の行動を容認することはできないとの基本姿勢を明確にしたのである。

平成二十八年八月のアフリカ開発会議で「アジアとアフリカをつなぐ海を、平和な、ルールの支配する海とするため、アフリカのみなさまと一緒に働きたい」と呼び掛けた提唱したのが「自由で開かれたインド太平洋戦略」の始まりだ。

真摯な追悼文

安倍外交は世界各国にこの戦略への参加を呼び掛けた。とりわけ米国へ強力に働きかけ、安倍元総理を先頭に、外務省幹部もワシントンに乗り込んでも、米中接近による米中融和路線を急速に進めており、安倍元総理が示し

た。こうした成果は、安倍元総理のインドへの熱心な働き掛けなしには実現しなかった。

安倍元総理は総理在任中に、平成二十六、二十七、二十九年と矢継ぎ早に三度にわたりインドを訪問している。安全保障はもちろん、経済連携や文化交流など広範な関係強化に努めてきたのである。さらには、令和二年場で共有できたことを光榮に思います」と表明した。バイデン米大統領もこの構想を引き継ぎ、今や米国の外交の基本戦略となっている。

安倍元総理が平成十九年に印度国会で呼び掛けた協力関係の構築も、慣例を無視し、秩序を破壊する中国の行動を容認することはできないとの基本姿勢を明確にしたのである。

平成二十七年に防衛装備品や技術の移転に関する「相互提供協定」や「情報保護協定」が締結され、令和元年には第一回外

務・防衛閣僚会合（日印2プラス2）も開催され

た。こうした成果は、安倍元総理のインドへの熱心な働き掛けなしには実現しなかった。

安倍元総理は総理在任中に、平成二十六、二十七、二十九年と矢継ぎ早に三度にわたりインドを訪問している。安全保障はもちろん、経済連携や文化交流など広範な関係強化に努めてきたのである。さらには、令和二年場で共有できたことを光榮に思います」と表明した。バイデン米大統領もこの構想を引き継ぎ、今や米国の外交の基本戦略となっている。

安倍元総理が平成十九年に印度国会で呼び掛けた協力関係の構築も、慣例を無視し、秩序を破壊する中国の行動を容認することはできないとの基本姿勢を明確にしたのである。

